

議案第1号

令和3年度 事業報告書

(2021年 4月 1日 ~ 2022年 3月 31日まで)

議案第1号 事業報告書 目次

■令和3年度 事業の総括 2 ページ

■令和3年度 組織運営に関する 3 ページ ~ 6 ページ

□会員に関する事項

□運営に関する事項

1. 総会
2. 理事会
3. 組織基盤の整備
4. 職員及びボランティア

■活動に関する事項 7 ページ ~ 11 ページ

<非営利活動に係る事業>

1. まちづくりに関する、情報発信・収集・企画・運営・案内人(ガイド)による交流を促進させる事業
2. 着地型観光のプログラム造成及び地域づくりを促進させる事業
3. まちづくりに関する、講演会・講習会・調査・研究・提言事業
4. 地域の歴史、伝統、文化、芸能、芸術、スポーツ等、及び地域の名物の保存、育成を図り地域活性化のためのイベント、お祭りの企画運営事業
5. 地域の特産品の普及拡大を図る為に、地域の生産者と事業連携を図り、地域の特産品を開発・宣伝し地域の活性化を図る事業
6. その他、第3条の目的をみたすために必要な事業

<その他の事業(収益事業)>

- (1) 着地型観光プログラム販売事業
- (2) 地元住民や観光客の交流を育むコミュニティ空間形成等の事業

◇添付資料

12 ページ ~ 15 ページ

特定非営利活動法人いいざかサポーターズクラブ

定款 第3条 (目的)

この法人は、飯坂地区の住民・個人事業者と飯坂温泉を訪れる多くの人々に感動を与えるため、市民・企業・行政等との情報の共有化を通し、歴史・文化・自然・景観・芸術・スポーツ等の保全や育成を図り、まちづくりに関わる情報の収集・提供・調査・研究、企画・運営、普及・啓発事業を行い、観光資源を後世に守り伝え、地域の特性を生かした観光とまちづくりによるコミュニティ空間の形成を行い地域活性化に寄与することを目的とする。

■令和3年度 事業の総括

昨年度は一昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大により事業への影響が続いた一年となりました。新型コロナウイルス感染症によりお亡くなりになられた方々に謹んで哀悼の意を表しますとともに、罹患された方々のご快復を心よりお祈り申し上げます。

また、2月には再び大きな地震災害に見舞われました。被害を受けられた方々に心よりお見舞い申し上げます。

おかげさまで幸いにも当法人の役員ならびに職員共に新型コロナウイルスに感染することも無く、地震災害においても大きな被害に見舞われませんでした。あらためて事業へご協力をいただいている皆様や、ご来場いただいたお客様へ心より御礼を申し上げます。

法人運営においては、時短・休業協力金や一時支援金、雇用調整助成金等を申請して事業の継続と雇用の維持をはかりましたが、事業の縮小や休止の影響により事務局職員が退職したこと、役員で運営をカバーしている状況にあります。

一方で都市部より地方への移住・定住を促す国の地方創生事業の一環で、福島市役所が窓口となり公募で採用された市職員1名を「地域おこし協力隊」として受け入れ、飯坂町への定住を目指し当法人の事業に従事しております。

子どもの外遊びを支援する冒険あそび場事業においては、新型コロナウイルス感染拡大により、開催回数が減少したものの、コロナ禍で子ども時代を十分に楽しむことが困難な子ども達の、自然体験を通したストレス発散や成長の一助を担っております。

飯坂町の地域資源を、観光で訪れる方々や市民に体験していただくことで、地域資源の保全や地域を活性化する飯坂茂庭活性化プロジェクトでは、コロナ禍で注目を浴びたアウトドアを中心に多くの方にご来場いただきました。

飯坂町の情報発信・交流拠点として運営するオンカフェ事業においては、長期にわたり休業や時短営業を余儀なくされました。それぞれの期間において、協力金や雇用調整助成金を申請して事業継続と雇用維持をはかり、飯坂町を訪れた方々へ安らぎの空間を提供することができました。

その他、摺上川ダムから受託した情報発信業務や飯坂温泉観光協会から受託した花ももの里管理運営業務においても、新型コロナウイルス感染拡大の影響でオンライン活動への変更や事業規模を縮小したものの、次年度に活動を継承する形で新たな取り組みや発展につながっております。

令和3年度においては、新型コロナウイルス感染拡大の影響による本来事業（非営利事業）の縮小に対して、その他の事業（収益事業）として位置付けているオンカフェ運営事業は協力金等の収益補填があったため、活動計算書において本来事業を上回る収益を計上しております。特定非営利活動促進法でその他の事業が本来事業を上回らないよう定められている通り、以降は本来事業をしっかりと実施してまいります。

特定非営利活動法人
いいざかサポートーズクラブ
代表理事 佐藤 耕平
代表理事 藤原 純

■令和3年度 組織運営に関する事項

□会員に関する事項

| | |
|--------------|--|
| (1) 会員数 | *正会員 31名 |
| (2) 会員へのサービス | ① イベント等の案内（郵送） ② 会員交流会 未実施 ③ 会報誌発行 未実施 |

□運営に関する事項

1. 総会

| | |
|-----|-----------------------------------|
| 日 時 | 令和 3 年 6 月 15 日 14 : 00 ~ 15 : 30 |
| 場 所 | ぷらっとふおーむ飯坂（福島市飯坂町西堀切27） |
| 出 席 | 正会員：25名（内、委任状17名） |

2. 理事会

| | |
|-----|--|
| 日 時 | 令和 3 年 5 月 10 日 17 : 00 ~ 18 : 00 |
| 場 所 | oncafé飯坂本店（福島市飯坂町湯沢26番地） |
| 出 席 | 藤原純、佐藤耕平、佐藤秀真、橋本圭介、古山郁、木戸康司 |
| 議 題 | ①令和2年度決算、令和3年度の予算について ②オンカフェ茂庭店の修繕費について ③総会の会場・日程について ④いいざかファンクラブ会員募集について ⑤地域おこし協力隊の募集について ⑥その他 ・茂庭つ湖ラインタイムトライアルレース中止について ・空き家、空き店舗活用に向けた取り組みについて |
| 日 時 | 令和 3 年 5 月 27 日 10 : 00 ~ 12 : 00 |
| 場 所 | リモート |
| 出 席 | 藤原純、佐藤耕平、佐藤秀真、古山郁 |
| 議 題 | ①総会の会場・日程について ②総会資料(活動報告書、活動計算書、貸借対照表、財産目録、活動計画、活動予算)の確認 |
| 日 時 | 令和 3 年 8 月 26 日 10 : 00 ~ 12 : 00 |
| 場 所 | oncafé飯坂本店（福島市飯坂町湯沢26番地） |
| 出 席 | 藤原純、佐藤耕平、佐藤秀真、橋本圭介、古山郁 |
| 議 題 | ①日本政策金融公庫借入金の借換えについて ②事務局体制と人材育成について ③地域おこし協力隊の募集について ④湯のまち飯坂・茂庭つ湖マラソン運営について |
| 日 時 | 令和 4 年 3 月 18 日 18 : 30 ~ 19 : 50 |
| 場 所 | いいざかサポートーズクラブ事務所（福島市飯坂町字湯沢26）、リモート |
| 出 席 | 佐藤耕平、橋本圭介、佐藤秀真(リモート)、古山郁(リモート)、木戸康司(リモート)、金澤次郎(リモート) |
| 議 題 | ①事業進捗状況と決算見込について ②令和4年度の活動計画について ③総会日程について ④その他 ・地域おこし協力隊員の着任と顔合わせ会について |

3. 組織基盤の整備

(1) 広報活動

①展示会・イベント等への参加・出店

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、展示会やイベント出店は行いませんでした

②メディアへの掲載

| 日 時 | 内 容 | 掲 載 先 等 |
|-----------------------------|----------------------------|-------------------|
| 令和 3 年 4 月 28 日 | もにわっ湖力ヤックツアーについて | レビュー福島 |
| 令和 3 年 4 月 30 日 | oncafé茂庭店について | 福島民報社 |
| 令和 3 年 4 月 30 日 | 茂庭っ湖ラインタイムトライアル レースについて | 福島民報社 |
| 令和 3 年 5 月 1 日 | 茂庭っ湖ラインタイムトライアル レースについて | 福島民報社 |
| 令和 3 年 6 月 27 日 | oncafé茂庭店について | ラジオ福島 |
| 令和 3 年 7 月 22 日 | もにわっ湖力ヤックツアーについて | 福島民報社 |
| 令和 3 年 8 月 11 日 | 摺上川ダムについて | ラジオ福島 |
| 令和 3 年 9 月 9 日 | もにわっ湖力ヤック 愛犬家プランについて | 河北新報社 |
| 令和 3 年 11 月 | もにわっ湖力ヤック 愛犬家プランについて | Collarふくしま(ペット雑誌) |
| 令和 3 年 11 月 19 日 | 万世大路スノーシューについて | 福島民友新聞 |
| 令和 4 年 1 月 30 日 1 月 31 日 | 万世大路スノーシューについて | 福島中央テレビ |
| 令和 4 年 2 月 2 日 3 月 9 日 | 万世大路スノーシューについて | レビュー福島 |

③インターネットでの情報発信（令和3年4月1日～令和4年3月31日）

| | |
|-------------|---------------------------|
| ホームページ閲覧者数 | 55, 901名 (令和2年度 41, 464名) |
| フェイスブック閲覧者数 | 58, 668名 (令和2年度 74, 885名) |

(2) 研修やセミナーへの参加

| 日 時 | 内 容 | 主催団体等 | 参加者 |
|--|--|-----------------------------|--------------------|
| 令和 3 年 5 月 26 日 | 地域おこし協力隊等 市町村担当者 オリエンテーション | 一般社団法人 ふくしま連携復興 センター | 佐藤耕平 |
| 令和 3 年 6 月 2 日 | コロナ禍で売上前年同月比 115%！自店舗HPを活用した集客 法 | アソビュー株式会社 | 佐藤耕平 |
| 令和 3 年 7 月 13 日 | 七ヶ宿ダムへ視察研修 | 自主研修 | 佐藤耕平 藤原純 木村裕 |
| 令和 3 年 7 月 7 日 7 月 21 日 7 月 28 日 | SNS販路開拓セミナー | 飯坂町商工会 | 佐藤耕平 |
| 令和 3 年 10 月 26 日 | プレスリリースセミナー | ソーシャルワイヤー 株式会社 | 佐藤耕平 |
| 令和 3 年 10 月 26 日 | 集客アップWEB プロモーションセミナー | 公益財団法人 仙台観光国際協会 | 佐藤耕平 |
| 令和 3 年 11 月 5 日 | 「地域で生きる！ 地域おこし協力隊」 オンラインセミナー | 福島県 企画調整部 地域振興課 | 佐藤耕平 |
| 令和 3 年 12 月 18 日 | 福島県北プロジェクト インターンシップ・プログラム研修 | 認定特定非営利活動法人 市民公益活動パートナーズ | 佐藤耕平 |
| 令和 4 年 2 月 22 日 | 「万世大路の保全と利活用を考え る」講演会 | 二ツ小屋隧道保存会 | 佐藤耕平 藤原純 |
| 令和 4 年 3 月 14 日 | With コロナ時代の 体験型観光市場のトレンド 及び今後の販売戦略 | 公益財団法人 仙台観光国際協会 | 佐藤耕平 |
| 令和 4 年 3 月 23 日 | 第4回勉強会「基調講演・ パネルディスカッション」 総評と今後の課題など | 二ツ小屋隧道保存会 | 佐藤耕平 |
| 令和 4 年 3 月 23 日 | 第10回瀬戸内 ミーティングfrom岡山 | せとうちDMO | 佐藤耕平 |

4. 職員及びボランティア

(1) 事業別人員体制 令和4年3月31日現在

| 事業名 | 理事及び会員、職員 | 臨時スタッフ・ボランティア |
|--|--|---------------|
| 法人事務局 | 常勤理事 1名 非常勤理事 2名 業務に応じて理事及び会員が従事 | 3名 |
| 冒険あそび場事業 | 常勤理事 1名 業務に応じて理事及び会員が従事 | 2名 |
| 飯坂茂庭活性化 プロジェクト | 常勤理事 1名 非常勤理事 2名 業務に応じて理事及び会員が従事 | 7名 |
| オンカフェ事業 | 非常勤理事 1名 職員 1名 パート職員 2名 | 4名 |
| 法人事務局においては、およそ2年半務めた事務員が自己都合により退職後、パート職員を募集しているが、3月31日現在において採用に至っていない。冒険あそび場や飯坂茂庭活性化プロジェクトの事業に従事していた職員1名は、新型コロナウイルス感染拡大により雇用の維持が困難となったため、本人と話し合いの上で契約を打ち切った。 | | |

(2) 福島市 地域おこし協力隊の受入

| | |
|------|--|
| 名 称 | 地域おこし協力隊 |
| 委託元 | 福島市 市民・文化スポーツ部 定住交流課 |
| 募集期間 | 令和 3 年 4 月 1 日 ~ 令和 3 年 11 月 19 日 |
| 内 容 | 人口減少や高齢化が進む地方において、都市部の人材を積極的に受け入れ、その定住・定着を図ることで、地域力の向上をはかる「地域おこし協力隊」の受入団体として、福島市と協働し隊員の募集を行い、1名の採用が決定した。 |

■活動に関する事項

<非営利活動に係る事業>

1. まちづくりに関する、情報発信・収集・企画・運営・案内人（ガイド）による交流を促進させる事業

①冒険あそび場運営事業【受託事業】

| 趣旨 目的 | 子どもが自由に責任を持って遊ぶことをモットーとした遊び場「プレイパーク」において、子ども自身が「やってみたい、楽しい」と感じる遊びのなかで心身の発育を促す機会をつくる | | | |
|-----------|--|--------|------|-----------|
| 内 容 | 飯坂町内の公園や河川敷、県内の児童センターやイベント会場等で、木製手作りの遊び道具（プレイキット）を積載した車両（プレイカー）を用いて、遊び道具の提供と子どもの外遊びの安全管理と見守りを行った | | | |
| 場 所 | 会 場 | 参加者数 | 開催回数 | 備 考 |
| 飯坂町 | 乙和公園 | 207名 | 12回 | 花水坂学童クラブ |
| 飯坂町平野 | 道北公園 | 211名 | 8回 | フレンズ学童クラブ |
| 飯坂町茂庭 | 茂庭広瀬公園 | 254名 | 7回 | |
| 福島市野田 | 野田児童センター | 20名 | 1回 | |
| 郡山市 | 郡山カルチャーパーク | 120名 | 2回 | |
| 相馬市 | 川原町児童センター | 457名 | 7回 | |
| 参加合計者数・回数 | | 1,269名 | 37回 | |
| 委託元 | 福島県子どもの冒険ひろば設置運営業務委託（子どもが自然と遊ぶ楽校ネット） ふくしま子ども食堂ネットワーク（郡山カルチャーパーク2回分） | | | |

②ぷらっとふおーむ飯坂の運営【受託事業】

| | | | | | |
|------|--|-----|-------|----------|-------|
| 実施期間 | 令和 3 年 4 月 ~ 令和 4 年 3 月 | | | 利用者数 延べ約 | 120 名 |
| 場 所 | 飯坂町 | 会 場 | 旧加藤別荘 | 利用回数 | 12 回 |
| 内 容 | 福島市飯坂温泉のラヂウム玉子製造源泉にある加藤別荘を改装した交流拠点「ぷらっとふおーむ飯坂」より、利用受付や施設の開錠・施錠、利用料の徴収を受託（利用会員登録料、施設使用料の半額が委託料） | | | | |
| 委託元 | ぷらっとふおーむ飯坂（代表 南雲 利明） | | | | |

2. 着地型観光のプログラム造成及び地域づくりを促進させる事業

飯坂茂庭活性化プロジェクト

(1) 自主事業

| | | | |
|------|--|------|--------------------------|
| 趣 旨 | 福島市飯坂町及び茂庭地区の自然や施設、文化を活用した事業（活動）を行うことにより、地域の交流人口の増加を図る | | |
| 活動名 | 茂庭つ湖カヤックツアー | 参加者数 | 415 名 |
| 実施期間 | 令和 3 年 4 月 ~ 令和 3 年 11 月 | 開催回数 | 96 回 |
| 場 所 | 飯坂町茂庭 | 会 場 | 摺上川ダム 梨平公園 |
| 内 容 | 摺上川ダム（通称：茂庭つ湖）でのカヤックツアー開催、観光事業者や行政観光担当者を対象とした体験会の開催 | | |
| 収 益 | 参加料 | | |
| 活動名 | 第5回 茂庭つ湖ラインタイムトライアルレース | 参加者数 | 50 名 |
| 実施日 | 令和 3 年 4 月 29 日 | 開催回数 | 1 回 |
| 場 所 | 飯坂町茂庭 | 会 場 | 国道 399 号線(飯坂町茂庭 摺上川ダム周辺) |
| 内 容 | 摺上川ダム沿いの国道 399 号線にて往復 11 km の自転車タイムレース開催 | | |
| 収 益 | 参加料 | | |
| 活動名 | 江戸時代建築の老舗旅館で上生菓子作り | 参加者数 | 14 名 |
| 実施日 | 令和 3 年 11 月 28 日 ・ 令和 4 年 1 月 16 日 | 開催回数 | 2 回 |
| 場 所 | 飯坂町 | 会 場 | ぷらっとふおーむ飯坂 |
| 内 容 | 新型コロナウイルス感染拡大の状況を踏まえ、会場を「ぷらっとふおーむ飯坂」に変更し、町内の和菓子屋職人を講師に上生菓子作り（練り切り）体験会を開催 | | |
| 収 益 | 参加料 | | |
| 活動名 | 里山と水路を巡るサイクリング | 参加者数 | 4 名 |
| 実施期間 | 令和 3 年 10 月 28 日 | 開催回数 | 1 回 |
| 場 所 | 飯坂町 | 会 場 | 西根堰周辺 |
| 内 容 | 飯坂町内の史跡や果樹園、西根堰をマウンテンバイクで巡るガイドツアー | | |
| 収 益 | 参加料 | | |
| 活動名 | 万世大路スノーシュー | 参加者数 | 80 名 |
| 実施期間 | 令和 4 年 1 月 ~ 令和 4 年 3 月 | 開催回数 | 35 回 |
| 場 所 | 飯坂町中野 | 会 場 | 国道 13 号線 東栗子トンネル付近 |
| 内 容 | 国道 13 号線の旧街道のトンネル跡地の内部に冬季期間にできた氷柱をスノーシューを履いて歩いて見に行くトレッキング・ツアー | | |
| 収 益 | 参加料 | | |

(2) 受託事業

| | | | |
|-----|----------------------------|------|-----------|
| 活動名 | 福島青年会議所 生涯スポーツ体験会 | | |
| 実施日 | 令和 3 年 5 月 25 日 | 参加者数 | 47 名 |
| 場 所 | 飯坂町内 | 会 場 | 飯坂小学校 体育館 |
| 内 容 | ドッヂビー、ニチレクボール、スラックライン体験会講師 | | |
| 委託元 | 公益社団法人 福島青年会議所 | | |

3. まちづくりに関する、講演会・講習会・調査・研究・提言事業

(1) 講師及び委員等の派遣

| | | | |
|------|---|------|-----------------|
| 活動名 | 飯坂地域まちづくり計画推進懇談会 | | |
| 実施期間 | 令和 3 年 4 月 ~ 令和 4 年 3 月 | 開催回数 | 5 回 |
| 応対者 | 佐藤耕平 | 会 場 | 飯坂支所 会議室 |
| 内 容 | 福島市総合計画後期基本計画を基調とした飯坂まちづくり懇談会への参加 | | |
| 活動名 | 飯坂温泉観光協会 理事会及び各委員会 | | |
| 実施期間 | 令和 3 年 4 月 ~ 令和 4 年 3 月 | 開催回数 | 4 回 |
| 応対者 | 佐藤耕平 | 会 場 | 飯坂温泉観光協会事務所、吉川屋 |
| 内 容 | 理事会、インターネット委員会に参加し事業運営に協力 | | |
| 活動名 | 大鳥中学校 職業人に聞く会 | | |
| 実施日 | 令和 3 年 7 月 7 日 | 開催回数 | 1 回 |
| 応対者 | 佐藤耕平 | 会 場 | 福島市立 大鳥中学校 |
| 内 容 | 中学1年生児童に向けたNPO活動に関する講演 | | |
| 活動名 | 万世大路に関する情報交換会 | | |
| 実施日 | 令和 4 年 1 月 20 日 | 開催回数 | 1 回 |
| 応対者 | 佐藤耕平 | 会 場 | 福島市飯坂支所 視聴覚室 |
| 内 容 | 河川国道事務所、福島市役所、福島市フルーツラインエリア観光推進協議会、ニツ小屋隧道保存会と万世大路の活用に向けた情報交換会 | | |
| 活動名 | こども遊びの安全管理講習 | | |
| 実施日 | 令和 4 年 2 月 16 日 | 開催回数 | 1 回 |
| 応対者 | 佐藤耕平 | 会 場 | オンライン |
| 内 容 | 子どもの外遊び活動における実践的な安全管理講習 | | |
| 活動名 | 花ももの里運営委員会 | | |
| 実施日 | 令和 4 年 3 月 2 日 | 開催回数 | 1 回 |
| 応対者 | 佐藤耕平 | 会 場 | パルセいいざか |
| 内 容 | 花ももの里の運営に関する委員会 | | |

4. 地域の歴史、伝統、文化、芸能、芸術、スポーツ等、及び地域の名物の保存、育成を図り
地域活性化のためのイベント、お祭りの企画運営事業

(1) 飯坂茂庭活性化プロジェクト

①受託事業

| | | | | | |
|-----|---|-----|-------|------|-------|
| 活動名 | 花ももの里管理運営業務 | | | 参加者数 | 6787名 |
| 期 間 | 令和 3年 4月 10日 ~ 令和 3年 4月 25日 | | | | |
| 場 所 | 飯坂町 | 会 場 | 花ももの里 | | |
| 内 容 | 花ももの里の管理運営、案内、協力金徴収 | | | | |
| 委託元 | 飯坂温泉観光協会 | | | | |
| 活動名 | 協同組合飯坂スタンプ会事務局 | | | | |
| 実施日 | 令和 3年 4月 1日 ~ 令和 4年 3月 31日 | | | | |
| 場 所 | 飯坂町 | | | | |
| 内 容 | 飯坂町内の商店で利用できる共通スタンプや商品券の発行事業を行う事務局を受託 | | | | |
| 委託元 | 協同組合飯坂スタンプ会 | | | | |
| 活動名 | 摺上川ダム オンライン クイズ大会 | | | | |
| 実施日 | 令和 3年 11月 ~ 令和 4年 2月 | | | | |
| 場 所 | オンライン | 会 場 | オンライン | | |
| 内 容 | 摺上川ダムに関するクイズを100問制作し、ホームページで回答を募集するオンライン型クイズ大会の実施 | | | | |
| 委託元 | 摺上川ダム管理所 | | | | |
| 活動名 | 茂庭つ湖 動画募集 | | | 出展者数 | 0名 |
| 実施日 | 令和 3年 11月 ~ 令和 4年 2月 | | | 開催回数 | 1回 |
| 場 所 | オンライン | 会 場 | オンライン | | |
| 内 容 | 摺上川ダムや周辺で楽しく過ごす人々の様子の動画を募集 | | | | |
| 委託元 | 摺上川ダム管理所 | | | | |

②実行委員会・協力事業

新型コロナウイルス感染拡大の影響により協力するイベント等が中止となりました

5. 地域の特産品の普及拡大を図る為に、地域の生産者と事業連携を図り、地域の特産品を開発・宣伝し地域の活性化を図る事業

※その他事業のoncafé（オンカフェ）運営事業

6. その他、第3条の目的をみたすために必要な事業

(1) インターン受入（公募型受託事業）

| | | | | | | | | |
|------|--|----|-------------------|-------|-----|--|--|--|
| 活動名 | チャレンジインターンシップ | | | 受入学生数 | 4名 | | | |
| 実施期間 | 令和3年7月23日～令和3年10月16日 | | | 活動日数 | 24日 | | | |
| 場所 | 飯坂町 | 会場 | 摺上川ダム、茂庭広瀬公園、乙和公園 | | | | | |
| 内容 | 冒険あそび場やカヤックツアーでのサポート | | | | | | | |
| 収益 | 福島県 | | | | | | | |
| 運営受託 | 特非) ふくしまNPOネットワークセンター/ふくしま地域活動団体サポートセンター | | | | | | | |

<その他の事業（収益事業）>

(1) 着地型観光プログラム販売事業

「2. 着地型観光のプログラム造成及び地域づくりを促進させる事業」の（1）にあるように、プログラムの試験的な実施に留まりました。

(2) 地元住民や観光客の交流を育むコミュニティ空間形成等の事業

| | |
|-----|-------------------------------|
| 活動名 | oncafé（オンカフェ）運営事業 |
| 実施日 | 令和3年4月1日～令和4年3月31日 |
| 場所 | 福島市飯坂町湯沢26番地 鮫湖湯前 |
| 内容 | 茂庭つ湖ダムカレー等、地域資源をPRする飲食メニューの提供 |
| 収益 | 販売収益 |

※ 令和3年度事業報告ならびに決算報告についての補足

令和3年度事業では、新型コロナウイルス感染拡大による事業中止や規模縮小ため、他の事業収益が本来事業（非営利事業）収益を上回りました。他の事業は本来事業に「支障がない限り」行えるものであり、他の事業収益が法人全体の収益の5割以内かどうか等、本来事業とのバランスを大切にして事業を組み立てることが望まれることから、次年度以降では、他の事業収益が本来事業を上回ることの無いよう活動を進めてまいります。

◇添付資料

1. 加盟団体一覧（順不同）

| | | |
|---|-----|---------------------|
| ・飯坂温泉観光協会 | 年会費 | 30,000円 |
| ・飯坂町商工会 | 年会費 | 12,000円 |
| ・飯坂町史跡保存会 | 年会費 | 1,500円 |
| ・湯沢町内会 | 年会費 | 7,200円 令和3年度半額減免 |
| ・湯沢商店会 | 年会費 | 12,000円 令和3年度減免 |
| ・飯坂食親会 | 年会費 | 9,000円 |
| ・福島県飲食業生活衛生同業組合 | 年会費 | 12,000円 |
| ・（一社）福島市観光コンベンション協会 | 年会費 | 10,000円 令和3年度減免 |
| ・子どもが自然と遊ぶ楽校ネット | 年会費 | 無 |
| 未来の担い手である福島県内在住の子どもたちが自ら考え「生き抜く力」を高めることを目的に、県内で自然体験活動を行っている8団体で構成されたネットワーク組織 | | |
| ・（特非）福島市レクリエーション協会 | 年会費 | 2,000円 令和3年度未納 |
| レクリエーションの総合的な普及振興を図り、福島市民の福祉向上と明るく豊かな生活の形成に寄与することを目的として市内16団体で構成されたネットワーク組織 | | |
| ・（特非）日本冒険遊び場づくり協会 | 年会費 | 8,000円 |
| 「遊び あふれる まちへ！」の合言葉で、冒険遊び場づくりを通して地域で子どもたちが自由に遊び育つ豊かな社会の実現をめざして全国展開しているネットワーク組織 | | |

◆添付資料

2. 広報掲載紙面等

令和3年4月3日 福島民報社

令和3年4月30日 福島民報社

令和3年4月30日 福島民報社

ページ

令和3年5月1日 福島民報社

令和3年7月22日 福島民報社

OPEN

オーブン

情報



**oncafé
moniwa**

電 024-542-3159
住所／福島市飯坂町中
茂庭36
営業日時／土・日曜日の
午前11時～午後3時

飯坂町の温泉街にある古民家カフェ「oncafé (オンカフェ)」の2号店が茂庭にオープンしました。店内は自然豊かな土地を生かした広々とした空間。子ども連れでも気軽に立ち寄れる「温」かい場所です。オススメは「茂庭ZEN (1500円)」。ハンバーグなどのメニューでイッッシュに小鉢5点、ご飯、スープ、ドリンク、デザート付きです。メニューは季節によって変わるので旬の味を楽しめますよ。予約をするとスムーズです。

令和3年7月23日 リビング新聞

令和3年10月号 CI Monmo

鯖湖湯

日本最古の木造建築共同浴場として古くから親しまれ、1993年に当時の姿を再現して改築された。地元住人以外も利用OK

店内から見えるよ♪

茂庭湖スープカレー
1250円

イチナント
8種の素揚げ野菜をスパ
シーナなカレーと共に

鯖湖湯のそばのおしゃれカフェ。

B oncafe

松尾芭蕉が立ち寄ったと言われる「鯖湖湯」が目の前。ミッドセンチュリー調の家具が落ち着いた雰囲気の店内で、カレー、パスタ、スイーツを。

令和3年10月号 | やらん

INFO)

簡単操作！ふたりともカヤック初体験です

茂庭^{モウジン}湖カヤックツアーアー「ワンちゃん!とカヤック」は、飼い主と愛犬が一緒にカヤックに乗り、糞を深める自然体験ツアーアーです。スタッフがツアーアー中、無料で写真撮影します。初体験の方でもカヤックの操作は簡単&安心!専門インストラクターが安全に留意して親切丁寧に応対します。

令和3年11月号 collar(ペット雑誌)

「氷の神殿」ツアー企画

来月末から 栗子峠の旧道「万世大路」



NAO君ひいごさん! まだの予定。
「福岡市は、まだこれから」「氷のスタークス」
「まだはねるやんこで、太陽が昇る」と、
目標にして、レッキオするツアーバスで、
神祇「万世大路スルーシュ」を開拓する。
る。天候によるが、ツアーバスは来年も
企画路冬の水の神祇は、福岡市形
神祇の旧里、万世大路

いざか廿
月末か
ノネル壁
キングす
スノーシ
が、ツア

令和3年11月19日 福島民友新聞

福島市

~2月末予定 氷の神殿「万世大路(ばんせいたいいろ)」
スノーシュー

自然が生んだ神秘「氷の神殿」を見に行こう！

スノーシュード福島・米沢間の旧国道「万世大路」をトレッキング。二ツ小屋隧道内にできる「氷の神殿」を目指す往復1時間半のアクティビティ。明治時代から現代を結ぶ街道の歴史と自然が生んだ神祕を満喫しよう。スノーシューやトレッ



撮影OK！雪解け水による幻想的な氷柱が現れる
う。スノーシューやトレッキングポール、ヘルメットのレンタル料込み。さらに、ガイドも付く
ので初心者でも安心。参加は12歳以上、飯坂温泉駅集合・解散。参
加希望日の前日17時までにHP内応募フォームより申し込みを。

■～2月末予定 8:00～/13:00～※気温や降雪状況による
往6,000円(保険料、スノーシュー＆トレッキングポールのレンタル料、ガイド料含む)
■NPO法人いしさかサポートーズクラブ事務局 ☎024-529-6125
<https://izukasupporters.com>

令和4年2月号 CJ Monmo